

**令和 6 年度**  
**宇都宮市予算編成に関する要望書**

**宇都宮市議会 うつのみや維新**

**令和 5 年 11 月 15 日**

## はじめに

市民生活の向上と市政発展のため、日々のご尽力に感謝申し上げます。本年は新型コロナウイルス感染症との共存(ウィズコロナ)に向け、全国的にさまざまな催しが数年ぶりに開催となり、外出産業、インバウンド需要の回復も相まった街の活性化が期待されております。反面、ロシアのウクライナ侵略による原油価格を始めとした物価高騰や円安の影響、最低賃金引上げに伴う社会保障関連費用はじめとした企業負担の増大、激甚化する豪雨災害など、「一難去ってまた一難」の行政運営が依然として続いており、国民・県民・市民はトリクルダウンに頼れない「経済的格差」や、制度面において真面目に生きる方々が報われない等の「精神的格差」を痛感する苦しい状況を余儀なくされております。

本市は今年度、ネットワーク型コンパクトシティの基盤となるライトラインの開業や、人口減少と市民の更なる利便性向上を見据えたデジタル施策の推進、地域共生社会の実現に向けた体制整備など変化の激しい局面に立ち向かい、住民に一番身近な中核市・県都としての強みを生かしたさまざまな施策に取り組んでいることと拝察いたします。そのような取り組みが功を奏し、他市と比較した際の財政指標の健全性や、人口動態 52 万人を堅持するなどの安定した状態を保っておりますが、今後ますます進むであろう超少子高齢社会による社会保障関連費用の増大や児童相談所の設置はじめ複雑化する社会問題に対応するための体制整備、また LRT 西側延伸計画や東部総合公園等と併せ、老朽化や耐震化、災害に対応するための施設や管路更新など、ネットワーク型コンパクトシティ基盤整備のための支出がさらに増大していくものと考えられます。

そのような中においても持続可能で安定的な行財政を構築し、市民の恒久的な暮らしの向上と県都・宇都宮の発展に向け、社会情勢や市民の声を的確に反映した予算編成をお願いしたく下記提案・要望いたします。

**赤**:重点提案・要望事項【20 項目】 **黒**:提案・要望事項【計 35 項目】

# 1. ニーズや情勢を的確に捉えた物価高騰対策と雇用対策

依然として続く物価高騰に対し、賃上げ等が追いついておらず、また最低賃金の引き上げや社会保障関連経費の増大から市民・企業双方への負担が重くのしかかっています。コロナ禍から続く生活困窮からの脱却には就労支援が必要不可欠ですが、企業の人手不足のニーズとマッチしていない実情もあります。国の動向や支援策も刻一刻と変化する中、令和6年度においてもニーズや情勢を的確に捉えた物価高騰対策と雇用対策を要望いたします。

- **ニーズや社会情勢を的確に捉えた物価高騰対策**
- **若者や生活困窮者等に対する就労支援策の強化と働きかけ**
- **人手不足が深刻な現場への働き手確保のための対策**

## 2.子ども・若者と真ん中施策の充実

超少子高齢化が進展する中においては、未来の宇都宮市をつくる子ども・若者たちの意見をさらに市政へ反映し、教育環境の整備も併せた未来への人材育成を加速させなければなりません。「宮っこを守り・育てる都市宣言」を発出する本市ならではの子ども・若者をど真ん中に位置づけた施策を推進し、支援を必要とする子ども・若者へ行き渡るよう要望いたします。

- 学校給食の充実と給食費無償化
  - 学習塾等に通う児童生徒への支援拡充、学習費の助成
  - 若者意見の反映や若者版意見ポストの設置
  - 里親・特別養子縁組など社会的養護の推進に向けた周知啓発
  - 「宮っこを守り・育てる都市宣言」及び既存支援の全体的な周知策の実施
- 
- 訪問産後ケア事業における民間事業者とのパートナーシステムの創設
  - 小学生からの包括的性教育の推進
  - 学用品ドライブの連携強化と品目の拡充、補助
  - ICT 教育の推進にかかる機材の更新整備とデジタルシティズンシップの浸透
  - 奨学金制度の充実、見直し
  - 離婚前後における親と子の面会交流支援の拡充
  - 若年世帯の移住定住の促進と就労環境の整備・支援
  - スタートアップ企業や事業主への支援の拡充

### 3. つながりの構築による市民の暮らしと幸福度の向上

刻一刻と変化する社会情勢の中にあっても、市民が幸せで豊かに暮らすことが出来るよう、経済的・精神的な貧困脱却に向け雇用をはじめとした対策や、医療・介護・男女共同・動物愛護等、多角的な視点での取り組みが必要不可欠です。他者とのつながりを構築し、お互いを理解する活動を後押しする施策の実現を要望いたします。

- 若年世帯・生活保護世帯・生活困窮者自立支援、ひとり親家庭自立支援対象世帯に対する就労支援策の強化と就職活動サポートのためのプログラムや施設整備
  - 障がい・難病の特性に応じたニーズの把握と支援策の実施(障がい者差別解消法や既存支援との整合)
  - 介護・障がい者福祉施設職員の待遇改善と教育・研修の充実
  - 動物の夜間救急対応体制整備
- 
- 特定健康診査受診の更なる推進
  - 地域包括ケアと在宅医療、第2層協議体の浸透
  - 宇都宮市民への AED 一時貸し出し
  - ヘルプマークのカラー分けや逆ヘルプマークの普及啓発
  - 男性トイレへのサニタリーボックスの設置
  - アンコンシャスバイアス解消に向けた理解の促進
  - 結婚支援に関する人材の育成と連携強化策の実施
  - 河川愛護会等地域団体への大型草刈り機等機材の貸し出し
  - 消防団詰所の市民開放による用途の拡充と市民理解の促進

## 4. 安心・安全で住みやすいまちの構築

市民が安心・安全で住みやすいまちの実現を図るため、近年頻発する災害や盗難等の対策、デジタル政策の推進、災害時の迅速な避難行動につなげるための施策、上下水道の安定的な経営を前提とした基盤整備、道路環境整備等について強化いただきますよう要望いたします。

- 自転車やシェアリングモビリティ利用者のマナー向上と取り締まりの強化、道路環境の整備
- 盗難の増加を鑑みた防犯カメラの増設
- 個別避難計画・災害時要援護者名簿の策定更新と地域理解の促進
  
- 消防団・防災士の増員に向けた支援
- 地域・企業・行政一体となったデジタル人材の育成とセキュリティマネジメントの浸透
- オープンデータの項目拡大（画像や加工情報等を含む）
- 大規模修繕や自治の役割を見据えたマンション管理適正化への働きかけ
- ヤード条例の設置
- 上水道における小水力発電の設置促進
- 上下水道施設や老朽管の強靱化・耐震化に向けた早期整備の実現

## 5. 宇都宮の魅力発信と食料自給率向上に向けた取組

本市の魅力や伝統文化、観光戦略においては絶えず魅力を生み出す努力と効果を継続させ、市内外へ広く発信する取組を加速化しなければなりません。特にライトライン沿線については、新たな視点を取り入れることにより、市内東部により多くの人々が行き交う施策を推進すべきと考えます。また近年、本市ご当地グルメの1つである「餃子」は、毎年行われている餃子年間支出額においてライバル自治体が多数出現し、その注目度も更に増してきているものと考えられることから、是非この好機を生かすべきと考えます。併せて食料自給率向上に向けた農業支援について要望いたします。

- 餃子消費量1位に向けた戦略の策定・「宇都宮餃子の日」制定
- 麦・大豆等食料安全保障強化策のための作付転換支援実施
  
- うつのみや泉水の脱プラスチック化
- ライトライン沿線におけるフラワーパークの整備
- 米の消費量拡大に向けた米飯・米粉使用の推進
- 農地の適正管理や土地改良区統廃合に向けた支援の拡充
- 市民農園の整備と発信の強化
- 文書館をはじめとしたデジタルアーカイブの充実連携やデジタル博物館鑑賞の整備

## 6. 交通政策への理解増進と周知・利便性の拡大

本年8月に開業したライトラインを皮切りに、市内のバス路線再編や乗り継ぎ割引運賃制度、高齢者外出支援制度等も相まって住民の公共交通利用への機運が高まっている中、変化の激しい交通施策・制度においては支援メニューが分かりづらく、地域住民への定着化が課題となっております。また、多様なニーズに対する交通施策を推進し、特に関心の高いライトライン西側延伸に関する精度の高い調査と透明性の確保、明確で分かりやすい効果や支援策の情報発信を要望いたします。

- 多様で変化の激しい交通政策の地域住民への定着化
- ライトライン西側延伸に関する精度の高い需要予測と概算事業費の算出、効果の分かりやすい発信
- 地域内交通未導入地区への伴走支援
- 障がい者向け地域内交通を含めた公共交通利用体験会の実施

## 7. 投票率向上のための環境整備

年々低下する投票率に対しては、議員各人はもちろん、行政も一丸となって危機意識を共有し、投票率向上のためのあらゆる手立てを尽くさなければなりません。我々議員も市民の信頼性向上のために活動して参る所存ですので、デジタル技術の活用等による投票環境の更なる整備になお一層の力を注いでいただきますよう要望いたします。

- 期日前投票所の増設、選挙日における商業施設等への投票所設置
- 投票日における投票所への臨時輸送支援
- デジタル市民証等 ICT を活用した選挙時における手続きの簡略化
- 選挙をとりまくペーパーレス化の推進